

## 加来 徹さん First CD 「Debut」制作レポート

2012年5月SOUND ARTS 都立大Studio-8で加来 徹さんのレコーディングが行われました。

加来さんはエミューズ音楽事務所（宮川則子代表）に所属する、今最も注目されている若きバリトンの貴公子。先日六本木で行われたコンサートにお邪魔しましたが、会場は熱気に包まれ、彼を温かく見守るファンの方々に囲まれた素晴らしい雰囲気のコンサートでした。

こんなに歌が分かりやすい、シューベルトやシューマン等の作家についてなど、楽曲が作られる背景も含めて展開されるコンサートには温かみがあり、リスナーに丁寧に解説される姿からお人柄が偲ばれ、本当に歌が心に響いたコンサートでした。

そのコンサートに先駆けてのレコーディングは、加来さんの誕生日である5月1日から3日間、目黒区のスタジオで行われ、全18曲イギリス歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラアリア、カンツォーネなどバリトン歌手としては異例の幅広いレパートリーがレコーディングされました。今回録音初演の「3つのうた～谷川俊太郎の詩による～」はピアノ伴奏を務める松岡あさひさんの作品でもあります。

レコーディングが行われたスタジオSOUND ARTS 都立大8stは、都立大学駅近く、目黒通りから至近とは思えない静寂と、呑川沿いの桜並木が見える明るく開放的なスタジオです。スタジオにはSteinway & Sons フルコンサートグランドD-274が鎮座し、繰り広げられる豊穡な世界観をささえていました。収録後すぐに渡欧され、日本に戻られる頃にはCDも仕上がり完成しています。作品は間もなく発売。今後の活躍を楽しみにしています。

### <加来 徹 プロフィール>

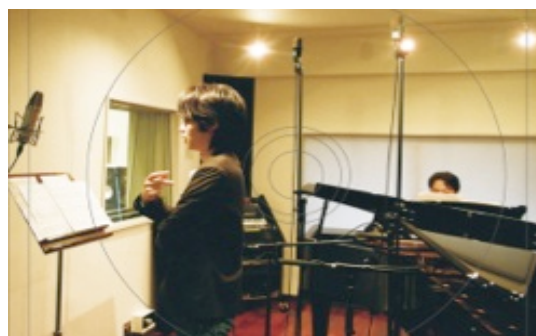
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同時に新人演奏会出演。同大学院修士課程独唱科を首席で修了。修了時に大学院アカンサス賞を受賞。武藤舞奨学金を受ける。

第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。併せて、日本歌曲賞、日本R.シュトラウス協会賞を受賞。第58回藝大メサイアのソリストを務める。

2009年の藝大定期《天地創造》《ハーモニーミサ》のソリストを務め、2010年には藝大定期《楽園とペリ》のソリストを務める。その他、第29回台東第九公演ソリストやJT主催「期待の音大生によるアフタヌーンコンサート」に選ばれた他、藝大モーニングコンサートソリストに選ばれ、G.マーラー《亡き子を偲ぶ歌》を藝大フィルバックに演奏する。

東京・福岡にてシューマン「詩人の恋」などを取り上げソロリサイタルを開く。他にもシューマン「リーダークライス Op.39」、また英国の歌曲プログラムでも各地でリサイタルを開いている。声楽を福島敬晃、勝部太の両氏に師事。これまでに、G.ボッセ、M.アンドレーエ、E.オルトナー、F.レニック、鈴木雅明、現田茂夫、小泉ひろし等の指揮者のもと、藝大フィル、九州交響楽団と共演。

世界各国の歌曲に幅広いレパートリーを持ち、ドイツ歌曲をはじめ、英米歌曲、ロシア歌曲、日本歌曲を中心に勉強を積んでいる。



Kaku Toru Debut / 加来 徹 EMMO-0001 ¥2,500- E-muse Music Office

お問い合わせ エミューズ音楽事務所 TEL 03-3364-0790

URL エミューズ音楽事務所 <http://www.chopin0512.com/>

加来 徹 後援会 <http://www.kaku-toru.net/>